

第31回ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会 議事録	2022（令和4）年3月30日 13:30～15:30 市役所505会議室
■出席者 1. 日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会 会 長：小根山裕之会長（東京都立大学都市基盤環境コース教授） 副会長：橘弘志副会長（実践女子大学生生活科学部生活環境学科教授）※欠席 委 員：曾我眞二（日野市老人クラブ連合会）※欠席 有山一博（日野市聴覚障害者協会会長） 早川裕子（市民サポートセンター日野副理事長） 富張理子（知的障害者相談員） 富田正俊（日野市視覚障害者協会会長） 藤田博文（自立生活センター日野） 臼井恵一（公募市民） 佐藤和子（公募市民） 井上敏夫（日野市商工会顧問）※欠席 中島正樹（独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部ストック事業推進部事業第3課長）※欠席 松本茂夫（日野市社会福祉協議会事務局長） 2. 日野市 まちづくり部長 宮田 守 健康福祉部長 山下義之 企画部長 岡田正和 3. 事務局 日野市まちづくり部都市計画課交通政策係 川鍋課長、村林係長、伴登、大貫 4. 受託者：株式会社ヤチホ（高村、丸山、宇野、平田） ■次第 1. 開会 2. 諮問事項 （1）「日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画」及び「第二次日野市バリアフリー基本構想」の改定について（継続審議） 3. 審議事項 （1）令和4年度日野市ユニバーサルデザイン推進功労者表彰 募集について 4. 報告事項 （1）令和3年度日野市ユニバーサルデザイン推進功労者表彰 候補者の辞退について 5. 今後の予定 （1）次回協議会の開催について 6. 閉会	

■配布資料

- ①次第
- ②パワーポイントを印刷した資料
- ③第二次日野市 UD まちづくり推進計画 素案
- ④諮問文の写し

■議事要旨

- (1) 日野市 UD まちづくり推進計画改定版案について、各委員の質疑とそれに対する事務局の回答

委員：○コンサルタントからの修正点(6点)の説明の中で古い写真があったということだが、それがいつぐらいのデータでなぜそのデータ使用したのか。また今回そのことがどのように発覚したのか、市のチェック体制がどうだったのかを聞きたい。

事務局：○修正前の写真は前計画のものでそのまま用いていた。経緯としては、作業の中で一旦前計画の写真を配置したうえで必要な写真を更新していくという手法をとっていたが、その段階で更新漏れがあり、そのままの掲載となってしまった。市のチェック体制に関してはパブリックコメントの前に最終確認を行ったが、該当部分のデータが更新されていないことに気付かずそのままの掲載となってしまった。今後このようなことがないように再発防止に取り組んでいく。

会長：○今回の修正点の説明の中で前計画から改善された部分がいくつかあったが、それについての情報は市には挙げられていたという理解で良いか。

事務局：○その通りです。

委員：○パブリックコメントで意見をいただいた方が1名でその方の意見が12件だったということで、やはりみなさんあまりご覧になっていない。周囲みんなの方に見ていただけるような工夫が必要。SNSやパソコンなどは若い方だけでお年寄りの方はあまり見ない。図書館も行かない人もいる。せっかく概要版があるのだから、もう少し多くの人にコメントいただけるような工夫が必要ではないか。

事務局：○今回の周知方法については広報とホームページへの掲載、LINE(SNS)を使った周知を行った。その中で1人の方にはしか意見をいただけなかったということで、今後周知方法については再度検討していく必要があると感じている。

事務局：○補足です。他の計画についても一緒にパブリックコメントを実施していたが、そちらも電話での問い合わせのみであった。今後としては計画を見てご意見をくださいというやり方も一つだが、もう少しコメントができるような、例えばアンケート形式にして良かった悪かったをSNSで回答できるようにするなど、簡単に回答できるような手法を考えていきたい。今後の課題とさせていただきます。

委員：○今回パブリックコメントの意見を拝見させていただいて、未達成項目や南平体育館新設に伴う意見が主だったかと思うが、未達成項目については実際計画の中でいつ達成されるのかということが市民の皆さんの一つの心配事であると思っている。また、生活関連施設の設定に応じて一部拡大された重点整備地区であるが、一部でなかなか整備が進んで

こなかったという現状もある。学校施設をなぜ生活関連施設にしないのかという意見もあったかと思うが、やはり基準や予算等で優先順位を付けざるを得ない現状の中で、日野市にはユニバーサル条例があるということを改めて考える必要があると感じる。計画に基づいて整備を進めていくことも重要だとは思いますが、例えば特定経路の使い方や特定経路以外の道路も含めて警察のデータ等を参考にしながら、特定経路ではないにしても子供達にとって危険な道路もあるので、そういった日野市の基準にとらわれずに整備を進めていく必要があると感じた。

事務局：○本計画の進捗率が低いという指摘もあったかと思うが、低い要因としては道路整備の事業がなかなか進まないということが一つの要因。道路事業にはどうしても予算と時間がかかるという現状がある。そういったところには引き続き本計画で位置づけて、具体的に来年度の特定事業計画という形で具体的な整備内容や整備年次等定めていく中で、進捗が進むように計画を位置づけていきたい。学校については前回協議会でも同じ意見をいただいていたが、これを受けて本計画の記載を一部修正させていただいた部分がある。また、来年度の特定事業計画の中で重点整備地区に入っていない学校についても何かしらの位置づけができないか検討していきたい。その中でバリアフリー化が進むように部署間で調整をしていきたいと思っている。生活関連経路以外にも危険な道路があるということについては、本計画は基本的にバリアフリーが主体の計画になっており、道路課での取り組みとして通学路点検等の安全対策の取り組みを行っているので、そういった対策と並行して安全対策の方も取り組んでいきたいと思っている。

委員：○国や都にも同じく条例等がある中で、都内全域が同じ基準で進めていけるわけではないので、日野市の現状を確認しつつ、必要な部分であれば都の基準を超えて取り組まなければならない場面もあるというところをぜひ検討していただきたい。

事務局：○生活関連施設の設定の基準については、各自治体が事情に合わせて設定できるものとなっている。今後通学路点検などの指摘事項も含めて皆さんが歩きやすい道路を考えていきたいと思っている。

委員：○パブリックコメントの意見が少ないということを聞いて同じくそう思った。どうやってたくさんの方の関心を得て意見を収集できるかということに関しては、例えば他の自治体(千代田区)では道路に壊れた部分があると市民の人がそこを写真に撮ってメール等で自治体に送ると、その収集した情報をもとに対処方針を考えるというような取り組みをしていると聞いた。日野市も全く同様のことができるわけではないと思うが、道路や施設について現状困っている所があり、こうしてほしいという意見があるのならばそれを収集する場所をウェブ上などで作ってもらえるとありがたいと思う。何でも相談所ではないが気軽に相談できるような窓口を作り、たくさんの方に意見を出してもらってそういったものを計画に反映させていくということを考えてもらいたい。

事務局：○今年度市の道路課の方で、まさにそのような道路などで壊れた部分を写真に撮って送ってもらえれば、職員の方で場所を確認しスムーズに要望を受けられるような仕組みの構築に取り組んでいる最中である。

委員：○そのような仕組みについては、市民の方がそれを知らないという意味がないと思うので、窓口

を設置しましたということを広く市民の皆さんに知らせる方法も考えていただきたい。

事務局：○ありがとうございます。皆さんがしっかり使えるように分かりやすく周知・啓発を進めていけるよう関係課とも連携しながら取り組んでいく。

委員：○パブリックコメントの意見が少ないことの理由に関してだが、ユニバーサルデザインまちづくりというテーマが何なのかを年間を通して発信していくことが足りなかったからだと感じる。毎年どのようなことに取り組んでいるのかの確認をし、市民の方にその計画の意識づけをしたうえでパブリックコメントを行う必要があると思う。もう一つは質問だが、スライド資料の13頁の一番下に日野市バリアフリー進行管理会議とあるが、これの座長(会長)がいるはず。このような人がこのような会に出席する必要があると感じます。障害者だけではなく、様々な分野の方が参加して計画を作っていくことをぜひお願いしたい。

事務局：○ご意見一点目についてはおっしゃる通り、計画策定の中で様々な当事者の方にヒアリングやアンケートをさせていただいたが、「ユニバーサルデザインとは、そもそも何？」等のご意見をいただいた。それについて計画書中に反映させたものがあり、計画書の138頁にバリアフリー法の新たな制度として教育啓発特定事業を取り入れて、その中にある「ユニバーサルデザインに関する周知・啓発」について行っていく予定。具体的には広報に特集ページを作って、ユニバーサルデザインが「国籍・年齢・性別にかかわらずだれもが使いやすい」ということであるということ伝えていく取り組みを考えている。ご意見二点目について、バリアフリー進行管理会議の座長に関しては現在協議会会長である小根山会長と橘副会長に同席していただいている。その中で総合的な意見をいただいてそれを協議会に反映できるように取り組んできた。よって、そういった様々な方の意見を取り入れるということを意識しながら今後事務局としても取り組んでいきたい。

委員：○回答ありがとうございます。私は日本聴覚障害者連盟として国や国土交通省と様々な会議でいろいろな方と意見を交換しており、様々な質問をしている。なので、そこでの内容も反映していただきたいと思う。直接話し合った方がスムーズに通じ合うことができ、大切なことであると思う。

事務局：○進行管理会議をやっていく中で、委員のご意見のように直接お話し合いをするなど必要に応じて検討していきたい。また、協議会の委員の皆様のご意見を伺いながら、進めていきたい。

会長：○進行管理会議の実施体制に関しては、より実のあるものになるように今後協議会でのご意見も踏まえながら検討していければと思う。ユニバーサルデザインへの浸透が薄かったという点については、やはりそういった面は非常に大きいと思う。他の計画では計画途中でイベントやワークショップなどが実施され、その都度意見等が反映されている。本計画についても次期計画を定めていくにあたってはいかにこの計画を上手く活用して浸透させていくかということが重要になってくると思われる。このあたりは実際に計画を実行していく中で進めていければと思う。

委員：○計画書で古い写真が使われていたということが何点かあったという説明を受けたが、本来であればこのように問題がある場所に関してはまずその現場に直接行って確認し、写真

を撮ってくることで資料を作るうえでの大前提になるのではないと思うが、他の場所ではそれをしており、たまたまこれらの部分を更新し忘れていたという解釈で良いのか。

事務局：○おっしゃる通り。写真データとしてはあったが、その差し替えができていなかったということ。

会長：○今日様々のご意見をいただき、まずは計画書作成していく中での作業のミスやチェック体制について、今後このようなことがないようにということが一つ。もう一つは、パブリックコメントに限らず計画を市民の方にどう浸透させていくかということに関して、次の計画を作成していく中で取り組みを進めていけると良いと思う。結果的に、基本的には計画書の修正に関してのご意見は無かったと認識しているので、この案を最終案のベースとして、市としての意思決定を進めてほしい。

（３） 審議事項（１）：令和４年度日野市ユニバーサルデザイン推進功労者表彰 募集について

会長：○募集に際して、何か張り出すポスターのようなものは作るのか。

事務局：○昨年度はこれまでの受賞者の方を写真などで紹介してきており、今回も同様に行う予定。

会長：○ぱっと見て分かるようなポスターが公的施設やショッピングセンターなどの人が集まるような場所に貼られていると、制度や取り組みとしてだけでなく、ユニバーサルデザインのこと自体を知らしめる広報にもなり、重要であると思う。

事務局：○より見ていただけるような工夫をし、チラシのようなものを作って募集をしていきたい。

委員：○チラシだけではなく、ポスターもあった方が良いのではないか。

事務局：○大きめのポスターについても作成するよう努めたい。

（４） 報告事項（１）：令和３年度日野市ユニバーサルデザイン推進功労者表彰 候補者の辞退について

事務局：○令和３年度表彰者について、候補者であった日野自動車様のご都合により、辞退したいとの意向を受けた。よって令和３年度表彰者はなしとなった。

（５） 今後の予定（１）：令和４年度の開催時期について

10月：「第三次バリアフリー特定事業計画」中間報告

令和５年２月：「第三次バリアフリー特定事業計画」策定

会長：○最後に全体を通して何かご意見はないか。

委員：○先ほど言いそびれましたが、学校に関して、特別支援学校の固定学級がない学校についても生活関連施設としていただきたい。固定学級がない学校でもニーズがないわけではなく、本当は入りたいと思っても断念している人もいて困っている人もいますので、ぜひお願いしたい。また、防災拠点としてというところの観点が今回入っていなかったのも、防災拠点としてのバリアフリー化も併せて考えていただきたい。

会長：○非常に重要な意見であると思うので、ぜひ考慮していただいて、検討してほしい。

委員：○表彰者の公募について、私は途中からこの会に参加したので最初は何のことかわからず誰も頭に浮かばなかったが、表彰者を見て理解できた。私でもこのような状態だったので、公募するとなるといろいろな状況が分からないと簡単に推薦はできない。公募についてどのように考えているのか、どのような基準で名前が挙がるのかを教えてください。

事務局：○公募に関しては自薦・他薦問わないという形式とさせていただいている。まずはエントリーしていただき、受付を経て審査という流れになるが、疑問点があれば委員の皆様から伺いそれにお答えし、表彰に値するか審査させていただいてきたというところが大きな流れとなっている。日野自動車様の辞退の件は排ガス規制の件の影響でご自身から辞退したいという申し出をされたため、残念ではあるがそれをお受けしたということ。

委員：○令和４年度の計画について、心のバリアフリーの計画が進んでいるのかどうか教えてください。

事務局：○今回教育啓発特定事業の中で心のバリアフリーの方針を位置づけている。一方で障害福祉課の方でも差別解消推進条例に基づく市職員への普及啓発というものがあり、令和４年度以降は２課連携して市職員へ心のバリアフリーと差別解消の両方で一緒に連携して取り組んでいくことを確認している。来年度以降取り組んでいきたい。

会長：他にご意見等無いようなら、以上をもって第31回日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会を終了する。委員の皆様、お忙しい中、ありがとうございました。